



令和8年度 東京都立八王子東高等学校 学校経営計画

校長 山本 勇

1 目指す学校

(1) スクールミッション

変化するグローバル社会において活躍できる生徒を育てます。各教科の学習や国際交流、論文作成などの探究的な学びを通じて、身に付けた知識や技能を活用する力を養うとともに、文理を融合した思考力・判断力・表現力を育み、これからの社会において他者と協働して課題解決ができる人材を育成します。

(2) スクールポリシー

【グラデュエーション・ポリシー】

- ① 人間尊重の精神を基調とし、心身共に健康で知性と感性に富み、思いやりと規範意識のある生徒
- ② 変化するグローバル社会において活躍できる生徒
- ③ 自ら進んで学習することができる生徒
- ④ クリティカルシンキングやクリエイティブシンキングに基づいた意志決定や問題解決が適切にできる生徒
- ⑤ 効果的なコミュニケーションスキルを身に付け、適切な対人関係を築くことができる生徒
- ⑥ 様々な事象に対して、積極的に挑戦する意思と意欲をもち行動することができる生徒

※育成したい8つの資質・能力

「協働力・実践力・想像力・思考力・判断力・創造力・人間理解力・意志決定力」

【カリキュラム・ポリシー】

- ① 探究的な学びを通して、身に付けた知識や技能を活用する力を養うとともに、思考力・判断力・表現力を育み、これからの社会において他者に対して、自分の考えを表明し、適切な行動を選択できる力をもつ生徒を育成する。
- ② 進学指導重点校として、大学入学共通テストに対応できる教育課程を編成し、難関大学への進学を目指す生徒を育成する。また、探究を中心とした様々な教育活動をとおして、自分の意見をまとめて他者に伝える能力を高め、難関国公立大学への推薦入試にチャレンジする生徒の育成も合わせて行う。
- ③ 課題解決を視点においた探究活動を実施し、地域の企業や大学、研究機関等と連携を深め、コミュニケーション能力を高めることにより、思考を表現する力を伸長させるとともに、言語活動の充実を図る。
- ④ グローバル社会の中で生きる力を育むために、GE-NET20 指定校、海外学校間交流推進校として、英語4技能の育成や姉妹校交流や海外研修等を実施し、国際理解教育を推進する。
- ⑤ 組織的な教育相談体制を整えるとともに、教育におけるユニバーサルデザインを進める。発達障害に関する教員の理解を深め、特別支援教育コーディネーターの複数配置を継続し特別支援教育を推進する。
- ⑥ 体育行事や特別活動等を通して、運営の仕方、安全な活動の仕方を身に付けるとともに体力の向上に努める。

【アドミッション・ポリシー】

- ① 本校への入学動機が明確であり、入学後何事にも意欲的に取り組む生徒
- ② 本校の特色を理解し、それを活用して自ら学習を進める意欲を持つ生徒
- ③ 将来への目的意識をしっかりと持ち、学習意欲が旺盛で、将来社会においてリーダーとなる気概をもつ生徒
- ④ 中学校で学習した全教科において秀でており、さらに数理的な能力、言語能力に優れている生徒
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に参加した生徒

2 中期的目標とその達成に向けた方策

- 「進学指導重点校」としての数値目標を安定的に達成するため、組織的な学習指導・進路指導を展開し、全ての教科・科目にバランスよく取り組み、難関国公立大学等に合格できる総合的な学力を身に付けた生徒を育成する。
- 探究的な学びを充実させるため、各教科で協働的な学習を促進し、デジタルの利活用等も踏まえながら探究系科目や各種探究活動の質的充実を図るとともに、探究的な学びの成果を総合型選抜等で活用させるなど、生徒の希望進路実現にもつなげていく。
- 将来、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、都の指定事業等を通じて外国語能力の育成や異文化理解、国際交流を積極的に推進するとともに、国内外の諸課題を地球規模の視点で解決しようとする資質と能力を備えた生徒を育成する。
- 社会人としての規範意識や公共心を育むため、守るべきルールやマナーに関する生活指導や自尊心・道徳心を養う教育を充実させるとともに、主権者教育等を通じて社会参画意欲を高め、将来の社会に貢献できる良識を備えた生徒を育成する。
- 安全・安心な学校生活を実現するため、生徒同士が互いの個性を尊重し合い、互いに高め合う雰囲気醸成するとともに、いじめの未然防止やSOSの出し方教育を定着させ、生徒の心身の健康維持や特別な支援に関する配慮等を適切に実施する。
- 募集・広報活動の充実を図るため、学校としての魅力や特徴を学校説明会やHP等、様々な場面で効果的に発信し、日常の教育活動に関する情報をタイムリーに提供することで、本校の良さを積極的にPRし、入選倍率の安定化を図る。
- 組織的な学校経営を実現するため、各分掌・委員会等の校内体制を整備するとともに経営参画意欲の高いミドルリーダーの育成を図り、OJTを通じた業務の円滑化を実現する。関係諸機関や地域、PTA・同窓会・後援会等との連携を通じて、教育環境の一層の充実をめぐる。
- 学校における働き方改革を推進するため、デジタル活用や会議の精選、各種校務の効率化を図ることで業務縮減を進めるとともに、教職員間の情報共有を円滑に行い、個に応じた教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

3 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

(1) 進学指導重点校としての数値目標

- ◇ 大学入学共通テストフル型（6-8型）受験者数＜200名以上＞
(R3=199名、R4=213名、R5=214名、R6=220名、R7=200名)
- ◇ 大学入学共通テストフル型（6-8型）全国平均上回り率1.25以上の得点者数＜75名以上＞
(R3=52名、R4=52名、R5=69名、R6=73、R7=61名)
- ◇ 国公立大学現役合格者数＜120名以上＞
(R3=103名、R4=112名、R5=119名、R6=122名、R7=110名)
- ◇ 難関国公立大学（東大・京大・一橋大・東科大・国公立医学部）現役合格者数＜15名以上＞
(R3=9名、R4=16名、R5=16名、R6=12名、R7=10名)
- ◇ 入学者選抜の最終応募倍率＜推薦：2.0倍/一般：1.4倍＞
(R4=1.57/1.28、R5=2.27/1.36、R6=2.03/1.52、R7=1.52倍/1.22倍)

(2) 学校生活に関する数値目標

- ◇ 在校生の「学校満足度」「授業満足度」「探究活動に対する満足度」「部活動満足度」「学校行事満足度」「教育相談満足度」 <90%以上>

(3) 教育活動の目標と方策

① 学習指導

「授業の充実こそが本校の生命線」

全ての生徒が、全ての教科・科目に全力で取り組み、幅広い教養と総合的な学力を身に付ける。

- ・各教科・科目の特性を踏まえて、生徒が自ら主体的に取り組む授業づくりを推進する。
- ・大学入学共通テストで8割以上を点数できる水準の授業を確立する。
- ・深い学びを実現するために、ICTの活用や協働学習を取り入れた授業を展開する。
- ・教員相互の授業参観や生徒による授業評価等を活用して、継続的に授業の工夫・改善を図る。
- ・考査問題の質を向上させ、知識・理解だけでなく、思考力・判断力・表現力を問う出題を行う。

② 進路指導

「希望進路の実現こそが到達目標」

生徒一人一人の希望進路を実現し、進学指導重点校に求められる数値目標を達成する。

- ・全教員が3年間の進路指導計画を共有し、面談等を通じて生徒の進路実現をサポートする。
- ・進路指導部と学年、教科の連携を図り、最後まで「高い志」を完遂できる生徒を育成する。
- ・難関国公立大学等への進学を意識させ、国公立二次試験をピークとする受験指導を推進する。
- ・学校全体として、国公立大学後期試験を念頭に、最後まで諦めさせない指導を徹底する。
- ・一般選抜を基本としつつ、探究の成果を活かした総合型選抜等への挑戦も積極的に支援する。

③ 生活指導

「生活指導と生徒支援は学校の土台」

基本的な生活習慣を確立させ、自他を尊重する、良識ある社会人としての自立を促す。

- ・TPOを踏まえて校服等の身だしなみをきちんと整えられる、良識ある生徒を育成する。
- ・基本的なルールやマナーを定着させ、遅刻の減少、特別指導ゼロを達成できるようにする。
- ・交通安全等に関する指導を継続実施し、ヘルメット着用促進や交通反則通告制度の周知を行う。
- ・多様な価値観を認め合う環境を構築し、いじめやネットトラブル等を防止する指導を徹底する。
- ・生徒の体力向上と健康の保持増進を図り、薬物乱用防止等の健全育成に係る指導を実施する。

④ 探究活動・国際理解

「探究活動は本校の大きな特色」

探究活動を学びの軸に据え、課題解決能力を育成する。

- ・探究部を中心に探究学習の内容や指導方法を深化させ、校内研修等で教職員の共通理解を図る。
- ・専門機関や外部との連携を活用し、生徒の知的好奇心を刺激する諸活動を充実させる。
- ・探究活動を通じた地域や社会の課題解決（地域貢献、社会貢献等）についても力を入れていく。
- ・探究活動等の成果を内外での発表につなげ、各種コンテスト等にも意欲的にチャレンジさせる。
- ・グローバルな視野を広げるため、高雄高級中学との交流や海外研修旅行(TRP)の一層の充実を図る。

⑤ 特別活動・部活動

「全ての生徒に活躍の場がある環境を」

他者との協働や帰属意識を醸成し、互いに高め合う集団づくり、チームづくりを実現する。

- ・生徒会や委員会等における生徒の自立的な活動を促進し、自分に自信をもてる生徒を育成する。
- ・学校行事等を通じて、生徒が協働し、チームで創り上げる喜びや達成感、成就感を体験させる。
- ・前例踏襲を良しとせず、自ら考えて行動し、様々なものを少しずつ改善できる集団を育成する。
- ・文武両道を念頭に、生徒が主体的に考え行動し、互いに高め合える部活動運営を実現する。
- ・競技力向上と上位大会を目指す部活動は、指導方針等を保護者に周知し共通理解を図る。

⑥ 安全・安心な環境づくり

「速やかな情報共有と適切な配慮・対応を」

生徒の心身の健康・安全に十分配慮し、安全・安心な学校生活、学校環境を実現する。

- ・生徒一人一人の心身の健康維持を重視し、メンタルケアや自殺防止対策に力を入れる。
- ・複数配置のＳＣと連携し、厚生部と学年が情報を共有しながら教育相談機能の充実を図る。
- ・特別な配慮等を必要とする生徒に関する情報を速やかに共有し、適切に支援する体制を整える。
- ・日頃から生徒・教職員の防災意識を高め、災害等の発生時を想定した校内体制を整備する。
- ・体罰等のサービス事故を起こさない校内体制を整備し、危機対応や防犯・安全教育の充実を図る。

⑦ 募集・広報活動

「来校者目線に立った募集広報活動を」

本校の良さや特徴、生徒の活躍の様子を積極的に情報発信し、志願者を増加させる。

- ・各種の情報メディアを有効活用し、最新の学校情報や生徒の活躍を適時・適切に発信する。
- ・学校の特徴や特色を総務部中心に全教員がベクトルを揃えて明確に説明できるようにする。
- ・学校説明会等の企画・運営を工夫し、来校者に好印象やインパクトを与える内容に改変する。
- ・体験的な募集活動を充実させ、来校した中学生や保護者に本校の良さを実感してもらう。
- ・管理職が率先して、外部説明会や講演会、塾訪問等の広報宣伝活動に力を入れる。

⑧ 学校経営・組織体制

「業務縮減１０％を目指して」

業務効率化を進め、教職員間の情報共有を図ることで、組織的で円滑な学校経営を実現する。

- ・各分掌主任等を中心とした組織運営と、正副担当者がサポートし合える業務体制を構築する。
- ・会議の精選、各種運営の効率化、執務環境の整理整頓等を進め、小さな改善を積み重ねる。
- ・経営企画室と職員室が情報共有を図り、予算管理等を含めた適正で迅速な事務執行を実現する。
- ・年休や育業取得を促進し、超過勤務解消のための個別面談等を実施して働き方の健全化を図る。
- ・働き方改革を促進し、個に応じたライフ・ワーク・バランスの実現を図れる環境を実現する。